

コーポレート・ガバナンス

○ マネジメント体制

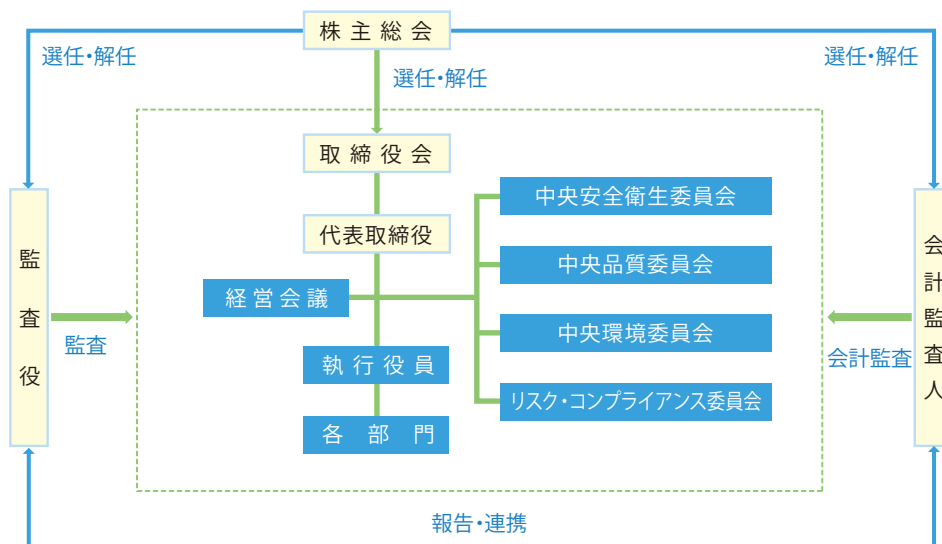
東罐興業の取締役会は5名の取締役で構成されています。取締役の経営責任を明確にし、経営環境の変化に対応できるよう経営体制を機動的に構築するため、取締役の任期は1年としています。また東罐興業は監査役制度を採用し、監査役3名による取締役の職務遂行および当社の経営状況の監視を実施しています。

○ 経営会議

経営の意思決定・監督機能と業務執行機能を明確にすることを目的として、執行役員制度を導入しています。また、当社および当社子会社の経営方針、および経営戦略に係る重要事項について、企業戦略の意思決定をより迅速に行うため、社内取締役、監査役および各本部長などによって構成する経営会議を設置しています。

○ コーポレート・ガバナンスの実施状況

2015年度の取締役会は13回開催し、法令で定められた事項や経営に関する重要事項を審議・決定するとともに、業務執行状況を監督しました。また、経営会議を毎月2回開催しました。その他リスク・コンプライアンス委員会をはじめとする各委員会を開催し、コーポレート・ガバナンスの健全な運営に努めました。



○ CSR経営の推進

東罐興業グループが考えるCSRは、経営理念の一つである「包装容器事業をコアとして、常に社会のニーズと自然環境に調和した製品とシステムを創造し、生活文化の向上に貢献する」ことです。我々を取り巻く幅広いステークホルダーからの期待に応え、信頼を得るよう努めてまいります。

東罐興業グループCSR基本方針

全てのステークホルダー	全ての人の基本的人権と多様性を尊重し、誠実に対話し、行動します
お客様	お客様の信頼に応える安全・安心な製品・システム・サービスを提供します
お取引先	常に高い倫理観を持って公平・公正・透明な事業活動を行います
株主	企業価値の向上に努め、情報の適正な管理と開示を行います
従業員	安全かつ衛生的で元気あふれる職場をつくります
地域社会	地域社会との共生を目指して、地域での交流を大切にします
地球環境	地球環境の保全と質的改善に積極的に取り組みます